

○水生生物モニタリング調査結果一覧（新田川E）

<新田川E 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
E-2 a	○	○	○	○	○	○

<新田川E 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)		水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)
E-2 a	37.6640°	140.9447°	R2.7.1	13:35	13:45	22.8	23.3	砂	10YR4/4	なし	0.55	>50

<新田川E 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
E-2 a	37.6640°	140.9447°	R2.7.1	13:35	7.5	0.5	3.1	9.1	8.0	0.05	1.1	11	6.7	0.0054	0.087	0.0016

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<新田川E 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)			
E-2 a	37.6640°	140.9447°	R2.7.1	13:45	7.4	505	19.6	1.1	2.9	2.675	3.7	32.4	51.1	10.4	2.4	0.69	9.5	13	280	0.19

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<新田川E 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
E-2 b	新田川本流	37.6635°	140.9452°	R2.7.1	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.0023	—	—	—	110	N.D. (26)	110	—	
					節足動物	昆虫	カゲロウ	チラカゲロウ	<i>Isonychia valida</i>	チラカゲロウ	480	0.011	幼虫	—	—	—	109	11	98	—
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	21	0.012	幼虫	—	—	—	16	N.D. (2.4)	16	—
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	265	0.22	成体	—	—	—	15.99	0.99	15	—
					節足動物	軟甲	エビ	モクスガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクスガニ	12	0.18	未成年体	—	—	—	23.8	1.8	22	—
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	1	0.071	未成年魚	空胃	—	内臓除去	24	N.D. (4.0)	24	—
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	1	0.15	未成年魚	スヤツメ	—	内臓除去	42.8	2.8	40	—
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	1	0.28	成魚	空胃	—	内臓除去	57.0	3.0	54	0.29
					脊椎動物	硬骨魚	カジカ	カジカ	<i>Cottus pollux</i>	カジカ	11	0.12	未成年魚	—	—	—	14.4	1.4	13	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	1	0.0075	未成年魚	—	—	—	19	N.D. (16)	19	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	15	0.11	未成年魚/成魚	—	—	—	14.73	0.73	14	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>	カマツカ	2	0.048	成魚	—	—	—	15	N.D. (2.1)	15	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i>	カワヒガイ	1	0.015	成魚	—	—	—	12	N.D. (2.3)	12	—
					脊椎動物	硬骨魚	サユ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	7	0.097	未成年魚	—	—	—	46.4	2.4	44	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	17	0.077	成魚	—	—	—	27.5	1.5	26	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ										
					脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	0.38	成魚	空胃	—	内臓除去	49.2	2.2	47	—
					脊椎動物	頭甲	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	<i>Lethenteron reissneri</i>	スナヤツメ	5	0.012	アノモンテス幼生	—	—	—	12	N.D. (8.4)	12	—
粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	—	—	水底落葉等	—	—	—	—	—	168.1	8.1	160	—		

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をプラン等で掻き落とししたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。